

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 問題

専門科目 中国語学中国文学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(夏期・一般選抜) 詞題

専門科目（中国語学・中国文学 専攻分野）

一、次の文章は、楊万里「誠齋荊溪集序」である。問題文の左側に、現代仮名遣いによる書き下し文と、現代日本語訳を、それぞれ記しなさい。なお、問題文は1頁から3頁まである。

予之詩，始學江西諸君子，既又學後山五字律，既又學半山老人七字絕句，晚乃學絕句於唐人。學之愈力，作之愈寡。嘗與林謙之屢歎之，謙之云：「擇之之精，得之之艱，又欲作之之不寡乎？」予喟曰：「詩人蓋異病而同源也，獨予乎哉？」

故自淳熙丁酉之春，上暨壬午，止有詩五百八十二首，其寡蓋如此。

*後山：陳師道（1053～1101年）の号。半山：王安石（1021～1086年）の号。

其夏之官荆溪，

既抵官下，閱訟牒，理邦賦，惟朱墨之爲親。詩意時日往來於予懷，欲作未暇也。戊戌三朝時節，賜告少公事。是日即作詩，忽若有寤。於是辭謝唐人，及王、陳、江西諸君子皆不敢學，而後欣如也。試令兒輩操筆，予口占數首，則瀏瀏焉，無復前日之軋軋矣。自此每過午，吏散庭空，即携一便面，步後園，登古城，采擷杞菊，攀翻花竹。

萬象畢來，獻予詩材。蓋麾之不去，前者未讎而後者已迫，渙然未覺作詩之難也，蓋詩人之病去體將有日矣。方是時不惟未覺作詩之難，亦未覺作州之難也。明年二月晦，代者至。予合符而去，試彙其藁，凡十有四月，而得詩四百九十二首。予亦未敢出以示人也，今年備宣公府掾，故人鍾君將之自淮水移書於予曰：「荆溪比易守，前日作州之無難者，今難十倍不啻，子荆溪之詩未可以出歟？」予一笑，抄以寄之云。

淳熙丁未四月三日，廬陵楊萬里廷秀序。

11) 次の二項について、それぞれ解説しなさい。

- ①『楚辭章句』 ②平仄 ③魯迅

受験記号番号

5 / 6

受験記号番号

6 / 6